



テーマ：今再びの「百日咳」

国内で「百日咳」の報告が増えています。小児科でも重要な感染症です。

どんな病気？

百日咳菌による感染症です。風邪症状から次第に咳がひどくなり、特に乳児、幼児では夜に発作性の咳がひどく食べたり寝ることが妨げられます。気道の加湿、気道拡張剤や抗菌剤の投与が行われ、咳はピーク後、徐々に治まりますが、全ての経過は3ヵ月(およそ百日)と言われ百日咳と呼ばれる所以です

なぜ今なのか？

平成以降、ワクチン推進でひどい症状の乳幼児は減ったのですが、このワクチンは効果が持続しないことが問題です。本来、不活化ワクチンの抗体価は時々患者さんと接触することにより増えて発症を防ぎますが、現代ではそのチャンスが減っています。その年代の方が大人になる、あるいは時流に触れワクチン拒否の方が一定数いることも罹患者を増やす原因と考えられます。また、海外からの持ち込みもあると思われます。ある意味きれいすぎる日本では、定期的にワクチン接種を励行していかざるを得ない、とも言えます。ただ、感染症ですから、基本はやはりワクチン、マスク、手洗い、うがいです。出来る準備、対策は乳幼児にしてあげたり、子供達に教えてあげましょう。



いっしょにうたいましょう♪

めだかがっこう

めだかがっこうはかわのなか
そっとのぞいてみてごらん
そっとのぞいてみてごらん
みんなでおゆうぎしているよ



めだかがっこうのめだかたち
だれがせいとかせんせいか
だれがせいとかせんせいか
みんなでげんきにあそんでる

めだかがっこうはうれしそう
みずにながれてつーいつい
みずにながれてつーいつい
みんながそろってつーいつい



山形済生病院 病児保育所

おひさま ルーム

〒990-0818 山形市沖町79番3
TEL・FAX: 023-674-8856
HP: <http://www.ameria.or>

開設日: 月曜日から金曜日
(祝日・年末年始除く)
8:30~17:30

対象児: 1歳から小学校6年生
配置職員: 看護師・保育士

